

## 中学生の「税についての作文」

大川 税務署長賞

### 税金について

大川市立三又中学校

三年 西山 未久

みなさんは二〇一一年三月十一日の、東日本大震災を覚えていますか。私は忘れかけていました。

でも、今年の七月に起きた九州北部豪雨で思い出しました。私は、福岡県大川市に住んでいます。その日はものすごい雨が降っていました。学校も臨時休校になりました。雷がなり、大雨で外に出ることができなかったので家で過ごしました。ふとニュースを見ると朝倉市や、大分県日田市などの様子が映っていました。私は目が離せませんでした。そこで見たのは川があふれ、家や車が水につかっている光景でした。またある日には、水があふれている中、流れてきた流木で「SOS」と書いて、助けを求めている人も見ました。

私は驚きと恐怖でいっぱいでした。どうにかしたいと思っても私にはどうすることもできずただ復興を待つだけでした。私の姉から聞いた情報だと、同じクラスの男子生徒の家が流されたというのを聞きました。その男子生徒は、家に帰る途中の道では通行止めになっていて家に帰ることができなかったそうです。

私はその話を聞いた時、呆然としました。私たちが涼しい部屋で過ごしている中、外では暑い中汗を流しながら復興作業をしている人がいることに気が付きました。

その復興には膨大な費用がかかります。そこで、「税金」が必要と なってくるのです。簡単に言うと、みんなのくらしを豊かにするために、みんなで出し合うお金のことです。一口に税金と言ってもたくさん種類があります。私たちに一番とってよいほど身近な税金は消費税です。今の日本の消費税は八パーセントです。百円の物を買った 百八円が必要になります。そうした税金で小・中学校の教科書が無償 になったり、私たちの健康を守るための医療施設の整備などを行って います。

こうした税金が無ければ、小・中学校の九年間の教育の費用のおよそ八百万円が必要となるのです。税金があれば助けられた命も助けられないかもしれないのです。土砂崩れで通行止めになっている道も長い時間が経っても復興せず通行止めのままになっていたかもしれませ ん。そうすると通行には不便で人々の生活に悪影響をもたらすことにな ります。生活を豊かにするためには税金はかせないものとなって きています。

しかし、現在日本が抱えている問題は少子高齢化です。わが国の平均寿命は男女とも世界最高であり世界一の長寿国です。問題は、高齢者の増加にともない社会保障給付金が増える一方で、少子化によりその費用を負担する働き手が減っていき、それにより一人あたりの負担が重くなることです。

すぐに解決する問題ではありません。人の命に関わってきた税金、 これからも向き合っていかなければなりません。